



初WEB総会

No.230・2020 7.15

NPO法人東腎協第15回総会特集

コロナウイルス感染拡大防止のため、
初めてオンラインでの総会を開催

……1~8



東京アラート(発令中)



東京アラート(解除)



特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
(NPO 東腎協)



NPO東腎協
戸倉 振一

会長 あいさつ

日頃から、東腎協の活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。第15回東腎協総会おきましては、新型コロナウイルスの感染リスク回避のため、書面での表決とさせていただきますが、正会員の皆様には表面決書の提出にご協力いただきありがとうございます。

総会は、正会員を兼務している理事および三役、監事にて、東腎協事務局と在宅でWeb会議システム利用して行いました。議事進行は本号に示す通りです。予算については書面でご指摘のあった事項の訂正案を提案しました。提出いただいた書面表決書は全て賛成であり、審議の結果、全議案とも可決いたしました。

今年度の活動については、新型コロナウイルスの感染の広がり状況に大きく左右されることになりました。緊急事態宣言により、新型コロナウイルス感染者は5月に一度少なくなり、このまま推移していくことを期待していましたが、6月の中旬から、接待を伴う飲食の業種の一部で、若い世代を中心に感染が広がり、7月に入ってから、市中に伝播をはじめている兆候がみられます。

東京における透析患者の新型コロナウイルス感染者は6月の下旬の週はゼロになりましたが、7月の第1週には再び2名確認されるようになりました。7月3日の時点で、東京の感染者は38名で死亡者は10名となっております。感染者に対する死亡者の割合は26%（10名／38名）となっております。全国の新型コロナウイルス感染者に対する死亡率は高齢になるほど高くなりますが、それでも80歳以上で約12%ですので、透析患者の死亡率は非常に高いと考えられます。今後も、市中での感染防止、透析施設での感染防止に務めるようお願いいたします。

このような感染が再度拡大して

いる状況にありますので、9月20日に予定していましたが東腎協第10回大会につきましては、中止とさせていただきますこととしました。

現在、理事会、三役会につきましては、Web会議システムを利用して定期的に行っています。ブロックでの対面の会議等については当面は開催できない状況にあります。今後、コミュニケーションをとっていく方向が考えられなにか検討していきたいと思えます。

こうした中ですが、透析患者に必要な対策は進んでいます。東京都透析医会災害対策委員会で構築している緊急時透析情報共有マップ（T o k y o D I E M A S）に患者の情報も加える検討をしており、5月に、そのヒアリングのWeb会議に参加させていただきました。9月には日本腹膜透析医学会で患者会が考える腹膜透析の災害対策の講演を行います。また、「災害時における透析医療活動マニュアル」の改訂版を検討するための東京都特殊疾病対策協議会腎不全対策部会に東腎協からも委員として参加させていただきます。また、都や都議会への、腎臓病患者に必要な要請は

しっかりと進めていきたいと思えます。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

目次

230号

戸倉振一会长あいさつ	表2
NPO東腎協第15回総会報告	1
暑中広告	9
手軽にできる透析食	13
追悼 鈴木 明彦さん（元理事）	14
事務局より	15

特定非営利
活動法人

東京腎臓病協議会

第15回総会

第15回東腎協総会は、新型コロナウイルス感染症禍により、東腎協が始まって以来初のWeb会議と議決権行使書により開催しました。

東腎協事務局には、古暮、梅原副会長、板橋事務局長、三好、松山事務局長、司会の野口理事が待機して、戸倉会長が在宅でZoomによるWeb会議を招集。理事、監事を中心に在宅でパソコン、スマートフォンで12名が参加。金子全腎協常務理事・事務局長、馬上関東ブロック担当理事にWebで参加いただき、総計20名のWeb総会となりました。

議決権行使書	賛成	反対
第1号議案	42名	0名
第2号議案	42名	0名

総会の議決数	72名
出席正会員数	9名
議決権行使書	42名
総会議決数	51名 / 72名



事務局（野口議長、古暮、梅原、板橋、三好理事）

鈴木明彦理事に全員黙禱の後）

開会あいさつ

東腎協会長 戸倉振一

昨年から今日までをみますと、昨年の9月、台風15号が千葉県に襲来して大きな停電が起きました。また、10月には台風19号が首都圏に上陸しまして、東京では多摩川が氾濫して、荒川ではギリギリの所で持ち堪えました。各地で避難勧告が出されまして、避難所に入れなかった人や障害者の方で、避難方法について様々な課題があぶり出された年であったと思います。

定刻通りに野口忠男理事（青湘会記念病院患者会）の司会進行で始まりました
正会員数の参加人数（51 / 72）で総会の成立確認をした。
*定款27条「総会は正会員数の2分の1以上の出席が無ければ開会することができない。」

（この間物故された東腎協会員、藤田吉彦元会長、長井久美子理事、

年が明けますと今度は、中国から集団発生した新型コロナウイルス感染症が1月中旬に日本で確認される様になりました。2月1日に指定感染症に指定され、ダイヤモンド・プリンセス号での集団感染が大変な注目を集めた訳です。

これを見ていた事もありまして、中国経由の第1波につきましては、封じ込めができた所ですけれども、



戸倉会長

欧米からの感染拡大の影響を受けてまして、3月中旬から日本においても感染拡大が起きました。そして都知事からの外出自粛要請があるとか、緊急事態宣言によりまして一定の終息が見られた所です。緊急事態宣言については解除されましたが、東京に於いては新宿区、世田谷区、港区等の夜の接待を伴う飲食が原因と思われる様な感染が続いて確認されている状況で、他県の様に感染者がいなくなるといふ事は当面なく、いつどこでコロナウイルスに感染するかは

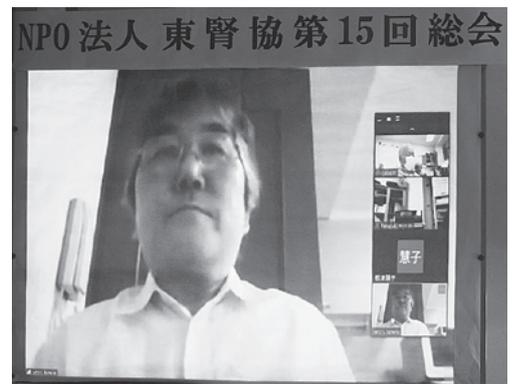
分からないというのが今の東京の現状です。

また、新型コロナウイルス感染症に対する有効な治療薬であるとか、ワクチンが量産されるまでは、感染しない様に十分な感染予防をしながら生活していかなければいけないと言われています。

この様に活動に制限が掛かる状況では有りますけれども、Web会議とか機関誌を有効活用しながら、新しい生活様式を取り入れながら必要な活動を進めていきたいと思っています。

特に今年このまま温暖化が原因と思われる激甚化した暴風雨による水害が頻発すると考えられます。また、このところ各地で小さな地震なども起こっておりまして、首都直下型地震についても警戒していく必要があります。こういった中、新型コロナウイルス感染症予防も考慮した避難の在り方についても考えていかなければなりません。

こういった災害対策は自助だけでは限界が有りますので、患者同士の共助それから医療関係者との共同、国や東京都・区市町村の公助が必要になります。その為には、



全腎協金子智常務理事

透析施設の患者会、東腎協、全腎協の活動がますます重要となつてくると思います。

今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致しまして簡単ではありますが開会の挨拶とさせていただきます。

本日はご多忙のところ東腎協第15回総会にご出席いただきましてありがとうございます。

来賓挨拶

全腎協常務理事 金子智

全腎協の金子と申します。よろしくお願ひいたします。今日は第15回総会の開催を心からお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症によりWeb会議になり、

不慣れな所がございますが宜しくお願ひ致します。

戸倉会長さんからお話がありましたけれども、全腎協も課題をたくさん抱えております。組織対策、災害対策等色々ありまして、日々取り組んでおります。

特に東腎協におかれましては、在京という事もありまして日頃から色々活動にご協力頂きまして感謝申し上げます。この場を借りて御礼申し上げます。コロナウイルス感染症対策も終息しておりますし、いろいろ想定外の事もありますけれども、引き続き全腎協の活動にご理解とご協力を頂ければと思います。

また、来年度全腎協50周年の記念大会を東京で開催致します。是非とも東腎協の力をお借りしないと成功出来ないと思っております。特に全体作業をお願いしますけれども、全腎協の50周年記念大会につきましてもご協力をよろしくお願ひ致します。

本日、不慣れな所もありますけれども、何卒よろしくお願ひします。

全腎協関東ブロック担当理事

馬上和久

全腎協関東ブロック担当理事をしています。神奈川県の上です。本日は、東腎協第15回Web総会に参加させて頂きありがとうございました。本来であれば映像での参加という事を考えておりましたが、私の方都合でZOOMに入れない状態で声だけの参加となつてしまいました。

関東ブロック会議では、先程全腎協の金子さんから話があったかと思いますが、明年は東京の会場という事で50周年の全国大会が開催されます。そういう事でいろいろ皆様にはご苦労をおかけするかと思います。宜しくお願ひをしたいと思います。

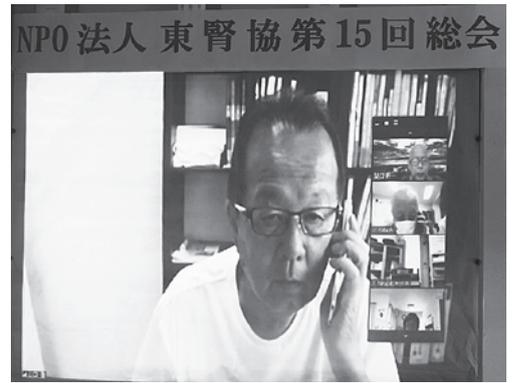
本日は、第15回の総会という事で本会が盛会裏に開催されます事を御祈念申し上げます。ひとこと挨拶とさせて頂きます。本日は、おめでとございました。

司会 有難うございました。

それでは只今より、NPO法人東京腎臓病協議会第15回総会の議事に入らせていただきます。



関口議長



山口監事

第二号議案

2020年度事業計画(案)

戸倉振一会長より提案

N.O. 229「第15回総会議案」を参照して下さい。

以下、2020年度の重点課題について報告いたします。

災害時における透析医療活動マニュアルの改定について

AS)の構築、
 ③東京都透析医会災害対策委員会と東京都福祉保健局及び水道局との定期的な連絡会の開催
 このような、体制の変更や、地震や台風等相次ぐ災害に備え、災害時における透析医療体制の強化に向けたマニュアルの見直しが必要とされており、昨年度から、東京都透析医会災害対策委員会でマニュアルの改定案の作成を行っています。

今後のスケジュールとしては、

東京都の特殊疾病対策協議会の腎不全対策部会で審議されたのち、区市町村や関係団体との調整の上、令和3年の3月に公表する予定となっています。なお、腎不全対策部会には東腎協の会長が委員として参加します。

改定の方向性としては、透析医療機関や区市町村等の関係機関が、透析患者へ適切な支援を行えるよう、次のような改定を行うとしています。

①東京都透析医会を中心とした透析医療機関の連携体制についての整理

②災害時透析医療ネットワークと区市町村との連携を強化するため、

2019年度事業報告

板橋俊司事務局長より報告

2019年度収支報告

酒井豊財務担当理事より報告

2019年度監査報告

山口登監事より報告

議長 以上が第一号議案のご報告
 ・ご提案です。

それでは、第一号議案の審議に入ります。(特に発言は無し)

議長 第一号議案の採決を致します。拍手多数で原案通り可決します。

議長選出

定款26条「総会の議長はその総会に出席した正会員の中から選出する。」

関口新一正会員(国分寺こやま腎友会)

議事録署名人選出

定款30条「本総会の議事の結果を議事録に記録し、確認する議事」
 録署名人を2名選出する。

小林正和正会員(昭島腎クリニックひまわり会)

横溝久美子正会員(長久保ハナミズキ会)

第一号議案

避難所での患者への対応方針を明確化

③透析用水の確保として、優先的に応急給水を行う透析医療機関の選定など、透析用水の確実な確保のための体制を整備

なお、第1回の腎不全対策部会は7月に行われます。

透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言の改訂について

維持血液透析は患者の生活の質（QOL）を向上させ、維持することが主目的ですが、臨床現場では、維持血液透析の開始または継続を見合わせざるを得ない事態に遭遇することがあるため、日本透析医学会では2014年に人生の最終段階にあたる維持血液透析患者に対象を限定した「透析の開始と継続に関する意思決定プロセス」についての提言」を作成公表しました。今回、昨年の透析中止後に女性患者が死亡したという報道がきっかけですが、最近の医療現場の状況も踏まえて、腹膜透析患者および末期腎不全と急性腎障害の血液透析導入期患者も対象に含めて、より良い医療とケアを提供す

ることを目指して、その提言の改訂を行いました。

今回の提言は、全国腎臓病協議会のモットー「いつでも、どこでも、誰もが安心して透析を受けられる」に配慮して、透析患者がどの透析施設でも安心して透析を受けられるように、医療チームが日常臨床の場であれば遭遇する判断に困窮する事例についての意思決定プロセスを示したものです。

全国腎臓病協議会からも馬場会長がこの提言作成委員会に外部委員として、外部査読委員として松橋業務執行理事が参画しています。以下に今回の7つの提言のポイントと透析の見合わせについて検討する状態（表）を示します。

提言1 医療チームによる患者の意思決定の尊重

患者が意思決定した医療とケアの方針を尊重する。患者から透析開始前に透析の開始同意書を取得する。患者に事前指示書を作成する権利があることを説明する。

提言2 患者との共同意思決定

患者に必要な情報を十分に提供する。患者から十分な情報を収集

表 透析の見合わせについて検討する状態

- 透析を安全に施行することが困難であり、患者の生命を著しく損なう危険性が高い場合
 - ① 生命維持が極めて困難な循環・呼吸状態等の多臓器不全や持続低血圧等、透析実施がかえって生命に危険な状態
 - ② 透析実施のたびに、器具による抑制および薬物による鎮静をしなければ、安全に透析を実施できない状態。
- 患者の全身状態が極めて不良であり、かつ透析の見合わせに関して患者自身の意思が明示されている場合、または、家族等が患者の意思を推定できる場合
 - ① 脳血管障害や頭部外傷の後遺症等、重篤な脳機能障害のために透析や療養生活に必要な理解が困難な状態
 - ② 悪性腫瘍等の完治不能な悪性疾患を合併しており、死が確実にせまっている状態
 - ③ 経口摂取が不能で、人工的水分栄養補給によって生命を維持する状態を脱することが長期的に難しい状態

する。話し合いを繰り返して、患者が最良の選択を行えるように支援する。患者に腎代替療法に関する情報を十分に提供し、透析の開始に必要な時点で、患者が腎代替療法を選択しない場合、患者・家族等（相続人を含む）と話し合いを繰り返し、合意形成に努める。

患者が意思決定した医療とケアを受けられているか評価を行う。

提言3 患者とのアドバンス・ケア・プランニング（ACP）

さまざまな機会に今後の医療とケアについて十分に話し合っ、患者が望む医療とケアについて十分に話し合う。

提言4 医療チームによる人生の最終段階における透析見合わせの提案

表に基づき、透析の見合わせを検討することもできる状態と判断する。意思決定プロセスに準じて対応する。保存

的腎臓療法を選択して透析を見合わせた後も適切に緩和ケアを行う。

提言5 意思決定能力を有する患者、または意思決定能力を有さない患者の家族等から医療チームへの透析見合わせの申し出

意思決定能力を有する患者の意思、または意思決定能力を有さない患者の事前指示（文書または口頭）を確認する。人生の最終段階ではないと診断した場合、生命維持のために透析を永続的に必要とする末期腎不全と診断する。

提言6 患者から家族等への病状説明拒否の申し出

理由を把握し、患者の意思決定能力の有無を確認する。意思決定能力を有する場合には家族等への連絡は原則差し控えるが、有さない場合には家族等に連絡する。尿毒症症状を認める場合、または保存的腎臓療法を選択して透析を見合わせる場合には、患者に家族等に連絡することを伝えたいうえで、病状を家族等に説明する。

提言7 医療チームと家族等による、理解力や認知機能が低下した

患者の意思決定支援

患者の意思を尊重して、意思決定を支援し、本人が望む最良の医療とケアを提供する。意思決定が可能な段階で、家族等に患者とACPを行うことを促す。

以上のように、患者の意思決定を尊重し、患者へ必要な情報を提供し、医療チームとも十分に話し合い、協働意思することとしています。また、意思決定できない状態に備えた事前指示しておくことが大切です。

用語説明

腎代替療法：血液透析、腹膜透析、腎臓移植のことです。

保存的腎臓療法：腎代替療法見合わせた場合に、苦痛緩和のための鎮静などを行うことです。

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）：人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合うことです。

事前指示書：将来自らが判断能力を失った際、自分に行われる医療行為に対する意向を、前もって意

思表示するための文書

意思決定プロセス：本提言で示している腎代替療法が必要に至った時点での意思決定プロセスのフロー図

議長 続きまして、2020年度収支予算（案）を財務担当の酒井理事からご提案をお願いいたします。

酒井豊財務担当理事

議案集予算案に訂正があります。議決権行使の山下賢正会員（織本病院腎友会）より、事務局家賃について指摘がありました。指摘の通りですので予算案の訂正案を提案します（P8参照）。

議長 第二号議案の審議に入りたいと思います。（特に発言は無し）

議長 第二号議案の採決を致します。拍手多数で原案通り可決しました。

議長 以上で本総会の全ての議事を終了いたしました。これにて議長としての役目を終了致します。皆様のご協力に感謝を申し上げます。

す。

司会 関口正会員、議長の大役を滞りなくお努めいただきました。ありがとうございます。

それでは閉会の挨拶を古暮副会長にお願いいたします。

閉会のあいさつ

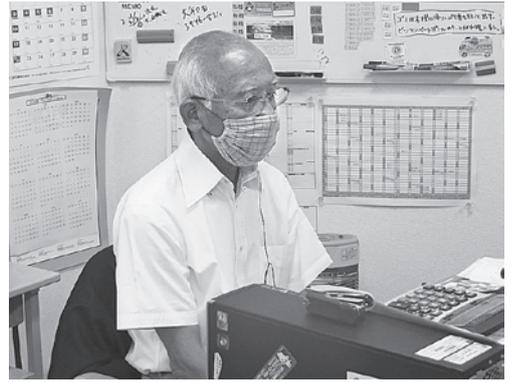
東腎協副会長 古暮宏

副会長の古暮でございます。

本日の第15回総会は新型コロナウイルス感染症予防のために、異例のWebによります総会となりました。正会員皆様のご協力を頂き、お陰様で無事滞りなく総会を終了する事ができました。ありがとうございました。また、正会員



酒井理事



古暮副会長

の皆様におかれましては、会員の減少、会員の高齢化等大変厳しい環境の中で患者会の運営に日々ご尽力を頂いております。心より厚く御礼申し上げます。また、東腎協の活動におきましても、ご支援・ご協力を頂いております。重ねて厚く御礼申し上げます。

今回の新型コロナウイルス感染症が終息するためには、ワクチンの開発がなくては難しいと言われております。そのワクチン開発も1～2年のスパンが必要と言われるておりますので、その間、引き続き自粛した期間が続くかと思えます。

特に私達透析患者は、感染しま

すと重症化するリスクが大変大きいと言われています。感染をしない様な防止に特に透析患者は十分注意して、これからお過ごしを頂かなければならないだろうと思えます。

また、患者会の活動につきましても今年度は感染防止を最優先にして頂きまして、慎重に実施をしてくださいますように宜しくお願いをしたいと思います。

終わりに皆様のご健勝を祈念致します。閉会の挨拶とさせて頂きます。ありがとうございました。

司会 以上をもって、NPO東京腎臓病協議会第15回総会を閉会とさせていただきます。

第15回総会 ぶい意見等

○勝和なごみ会 保倉清太郎

理事・理事長・事務局御中。毎々のご高配を感謝申し上げます。此度は事情により総会が開催されないことは残念です。前途の通り第一号議案、第二号議案に賛成いたします。

当会は5月24日に総会を開催する予定で資料をまとめましたが、

総会、勉強会の開催を中止いたしました。COVID-19に関して、東腎協、日本透析医学会、山中教授HP、足立区の発表etcの「特集・報告」を会員にまとめて報告しました。今後の東腎協スケジュールが決まりましたらお知らせ願います。

○希望会（立川相互病院患者会） 齋藤尚武

私達希望会の会長が逝去され、新会長の選出がコロナウイルス感染対策の為、総会を開催することが出来ず、会長及び正会員が空白となっております。従って議決権行使が出来ませんので「議決権行使書」を提出出来ない事をご了承下さい。

○新江東橋クリニック腎友会 廣田昭弘

お疲れ様です。戸倉会長、他理事役員の皆様へ感謝申し上げます。コロナ禍の中で大変だとは思いますが、早期の終息を願いつつ、感染にはお気を付けて活動されますよう心よりお祈り致します。

○織本病院腎友会 山下賢
2020年度予算案における事務局家賃は162,000円/月ではなく、165,000円/月ではないですか？(2019年度決算報告の説明から)

○平山腎友会 岡田和友

議案書2.透析患者をめぐる情勢(2)透析患者の医療費をめぐる情勢の項①に各種医療費助成制度が後退し地方における個人負担増とあります。
人工透析やその他の病気で受診した場合、1回につき300円～500円の診療費、薬代の自己負担が発生しています(上限5,000円などがあります)と情勢報告されています。上限5,000円とあるのは多分大阪府(市)のことだと思われませんが、大阪で自己負担があり医療費助成制度が後退しているということは、東京でも同じことが起こらないという保障はないと思われれます。

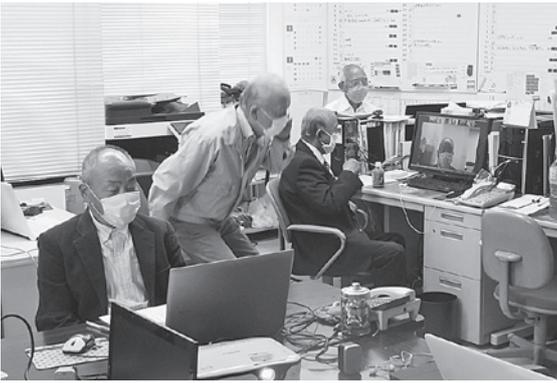
そのことを防ぐためにはどうしても患者会を大きくすることが必要だと考えます。透析の仲間にして状態を伝え一人でも患者会に入っていたできるようにしたいです。

Web総会参加者感想

○新型コロナウイルスの感染拡大により3月の理事会は書面表決と三役のみで事務局で行いました。

4月以降は、事務局での会議も自粛をせざるを得ない状況となったので、安価で簡単に始められ、広く使い始められているZOOMというWeb会議システムが使えないか、試行をはじめました。三役の間ではなんとか使えるようになり、5月から理事会に広げ、今日の総会についても、こういう形で出来ました。皆さんチャレンジして頂きありがとうございます。

(会長 戸倉振一)



○このコロナの影響は大変大きく、元の姿には戻れないだろうと、新しい今までと違う社会が訪れるだろうと言われています。当然、東腎協の活動にしても新しい時代の中、この様な形で活動を進めるか大きな課題が出てくると思っています。国の財政も大変これから大きな債務を抱えますので従来の様な透析患者に向けて手厚い治療費の支援がいつまで継続されるか心配しております。大きな時代の流れの中で、今まで以上に皆さんと心合わせる必要があると思っています。

(副会長 古暮宏)

○コロナの影響によって大変な時代を迎えましたけれども、今回初めてのWeb総会でございますけどやれば出来るという事ですね。皆様のご協力を頂き時代に合った非常な素晴らしいWeb会議であったと思っています。私もこういう事に不慣れでして皆様のご支援、ご協力に参加させて頂き、時代に乗り遅れない様に皆さん共々、頑張っていきたいと思います。

(副会長 梅原秀孝)

○慣れない割にはスムーズにいったと思います。問題点もかなり急所をつけて色々出ましたし、我々がやらなきゃならない事業を目指す所も端的に伝わってききましたし、良かったと思います。これに慣れなくても上手く出来ればいいなあと思っています。

(副会長 酒井豊)

○今日の経験をもとに、これからもWeb会議が盛んに行われていくと思いますが、私も自分の患者会に帰って今日の様子を皆さんに少しずつでも伝えて行きたいと思っています。

(理事 根津恵子)

○仕事も順調で毎週4日間ずつと行っています。皆さんのことは心配していません。私は元気ですが、最近電車もよく乗りますが、人も増えてきてかなり、怖い思いもしています。皆さんも体に気をつけて下さい。(理事 松本茂利)

○この会議に段々慣れてきて、嬉しく感じています。患者会でも話をしたりする事が出来ず、配布物も禁止されていて、ビニール袋に入れて配っている状態です。こう

いう状況の中で患者会として何が出来るかという事をこれから、もつともつと明確にして活動していきたいと思っています。ご指導、よろしくお願いします。

(理事・正会員 横溝久美子)

○慣れない割に表情も出て、有意義だったと思います。私の場合、スマホで見えていたので手が疲れました。改善をしないといけないと思います。地元患者会の総会も書面評決でありましたし、役員会もほとんど中止で9月に出来るかという状態ですが、この様な手段があれば理事会・総会等やっていきたいと思っています。非常に参考になりました。

(理事 中野重藏)

○コロナはすぐには終息しないでしょうし、我々は死亡率が非常に高いという事で感染は極力控えるてはいけない、防止をしなくてはいけないという事で当然理事会や何かの会合はこういう形で行われるケースが続くと思われます。今日参加して声がわれる、ハウリングしたりして聞き取るのが大変だったと思います。その為にヘッド



ホーンや、イヤホンを揃えていく
 事がいいと思います。

(理事・正会員 関口新一)

○司会、慣れない中、ちゃんと聞き取れましたでしょうか。ご協力有難うございました。

(理事・正会員 野口忠男)

○途中で映像が見えなくなってしまうってすみませんでした。今、クリニックでも新しい患者さんは増えていきますけども、コロナのため案内を持って行けなく困っています。(理事・正会員 小林正和)

○理事会、総会と初めての体験で戸惑いましたが大変良かったと思います。総会への意見としては、災害手帳の改訂・充実をお願いしたいと思っています。新しい会員を拡大するうえで、会員のメリットを訴えるためにも是非お願いしたいと思っています。(理事 金井信憲)

○Webに不慣れな点がありました。いろいろなご迷惑をお掛けしました。総会が無事終了できて大変良かったと思います。ほとんどの方とは初対面だと思えますので、自己紹介させて頂きます。

私は10年前までは、皆さんと同じ様に理事をやっておりました。9年前に腎臓移植をしまして、今年9月で丸9年です。身体の方は大変調子が良く、月に一回の病院で尿検査と血液検査をして、異常が無ければ大丈夫という事です。73歳の私は孫達と過ごしたりして1日を過ごしています。先日会計監査を先立ってオンラインでやらせて頂きましたけど、非常に良かったと思いますし、今日もとてもスムーズな会議だったと思います。(監事 山口登)

○事前テストで私のパソコンにカメラが付いていないことが分かった。アイパッドもあるので、会計監査の時ハウリングしてしまっただので、スマホで無事参加出来ました。これからもWeb会議は多くなると思いますが、いつでも参加できるように準備しておきたいと思っています。

私の患者会でも何ができるか思案中です。勉強になったWeb会議でした。(監事 岡田和友)

○事務局には、司会をされる野口理事が打合せも有り、早くから来られた。続いて梅原副会長、古暮副会長が来所され、私達はZOOMの準備を始めた。事務所のパソコン、私が自宅から持ち込んだパソコンを繋いだ。イヤホンもそれぞれに差し込んで準備が完了した。総会中は、あちこちに動き回り皆さんにご迷惑をお掛けしたかも知れませんが、Web会議を4月から始め、会計監査、理事会を重ね総会を開ける様になると思っております。関東ブロック、全腎協も是非活用して頂きたいです。

(事務局次長 三好かおり)

2020年度 特定非営利活動に係る事業会計 予算案

勘定科目	金額	内 訳
事務局家賃	2,145,000	165,000円/月 更新料1ヶ月等
リース料	685,000	印刷機器リース料
什器備品費	0	
水道光熱費	150,000	
通信運搬費	720,000	配送料等
支払手数料	92,000	送金手数料等
会議費	150,000	理事会交通費等
事務局運営費	100,000	
事務用消耗品費	460,000	
慶弔交際費	50,000	
租税公課	0	
雑費	0	
管理費合計	9,312,000	
支出合計	19,335,000	
収支差額	△2,254,400	
次期繰越収支差額	23,068,422	2020年度期首繰越額25,322,822円

※アミカケ部分が修正案です。

暑中御見舞申し上げます

NPO東腎協賛助会員

<p>NPO法人東京腎臓病協議会</p> <p>会長 戸倉 振一 副会長 古暮 宏</p> <p>同 梅原 秀孝 同 榊原 靖夫 同 酒井 豊</p> <p>事務局長 板橋 俊司</p>	<p>医療法人財団 百葉の会</p> <p>銀座医院 上野透析クリニック</p> <p>院長 中島 敦夫</p> <p>〒110-0005 東京都台東区上野 2-12-20 ロータスビル3階 ☎03-5817-8770</p>	<p>社会福祉法人 樹会</p> <p>特別養護老人ホーム 大井苑</p> <p>理事長 富家 隆樹</p> <p>〒356-0054 埼玉県ふじみ野市大井武蔵野1-277-1 ☎049-(262)8686 FAX049-(256)5300</p>	<p>社会福祉法人 樹会</p> <p>特別養護老人ホーム 四街道苑</p> <p>理事長 富家 隆樹</p> <p>〒284-0008 千葉県四街道市鹿放ヶ丘5-93-3 ☎043-(304)8161 FAX043-(304)8163</p>
<p>医療法人財団</p> <p>織本病院</p> <p>理事長 高木 由利</p> <p>〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘1-261 ☎042-(491)2121</p>	<p>社会医療法人社団 健生会</p> <p>羽村相互診療所</p> <p>所長 小林 重雄</p> <p>〒205-0023 東京都羽村市神明台1-30-5 ☎042-554-5420 FAX042-555-3151</p>	<p>社会医療法人社団 健生会</p> <p>すながわ相互診療所</p> <p>所長 小泉 博史</p> <p>〒190-0002 東京都立川市幸町5丁目9番2号 ☎042-(538)1502</p>	<p>医療法人社団</p> <p>菊川橋クリニック</p> <p>院長 古川 猛</p> <p>〒130-0024 東京都墨田区菊川2-11-1 ☎03-(5600)2222 FAX03-(5600)0805</p>
<p>医療法人社団 君真光</p> <p>寺田病院</p> <p>理事長 寺田 光男</p> <p>〒168-0081 東京都杉並区宮前5丁目18番16号 ☎03-(3333)1166 FAX03-(3333)6765</p>	<p>医療法人社団 光靖会</p> <p>井口腎泌尿器科</p> <p>理事長 井口 靖浩 院長 戸田 直裕</p> <p>〒125-0061 東京都葛飾区亀有3-7-7サンセリテ鞠子 3階3号室 ☎03-(3833)8723 FAX03-(3833)8723</p>	<p>医療法人社団 光靖会</p> <p>井口腎泌尿器科・内科 新小岩</p> <p>理事長 井口 靖浩 院長 安東 克之</p> <p>〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-49-10 第5テリカビル5・6・7階 ☎03-(6233)5932 FAX03-(6233)5932</p>	<p>医療法人社団 三友会</p> <p>あけぼの病院</p> <p>理事長 南郷 俊明</p> <p>〒194-0021 東京都町田市中町1丁目23番3号 ☎042-(728)1111 FAX042-(728)8469</p>
<p>医療法人社団 松和会</p> <p>大泉学園クリニック</p> <p>院長 草場 岳</p> <p>〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-40-24 サンダリオンビル3-5F ☎03-(5947)5681</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>十条腎クリニック</p> <p>院長 秋元 寛正</p> <p>〒114-0034 東京都北区上十条2丁目13番1号 ガートニア4階 ☎03-(3908)2411 FAX03-(3908)2430</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>望星西新宿診療所</p> <p>院長 中尾 俊之</p> <p>〒160-0023 東京都新宿区西新宿3丁目12番12号 ☎03-5304-5655</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>望星赤羽クリニック</p> <p>院長 喜田 浩</p> <p>〒115-0045 東京都北区赤羽 2丁目11番3号 ☎03-3902-0255</p>

暑中御見舞申し上げます

NPO 東腎協賛助会員

<p>医療法人社団 松和会</p> <p>練馬高野台クリニック 院長 鈴木 重伸</p> <p>〒177-0033 東京都練馬区高野台 1-8-15 ☎03(5372)6151 FAX03(5372)6151</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>望星新宿南口クリニック 院長 高橋 俊雅</p> <p>〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目9番2号久保ビル3階 ☎03(3376)0191 FAX03(3376)0191</p>	<p>医療法人社団 松和会</p> <p>望星田無クリニックス 院長 福井 光峰</p> <p>〒188-0011 東京都西東京市田無町2丁目21番地12号 ☎042(464)5711 FAX042(464)4838</p>	<p>医療法人社団 秀佑会</p> <p>東海病院 院長 江本 秀斗</p> <p>〒176-0023 東京都練馬区中村北2丁目10番11号 ☎03(3999)1131 FAX03(3999)7027</p>	<p>医療法人社団 順洋会</p> <p>腎クリニックス高野台 院長 松井 道大</p> <p>〒177-0033 東京都練馬区高野台 1丁目3番7号NFプラザII3階 ☎03(5910)3121 FAX03(5910)3123</p>
<p>医療法人社団 駿昭会</p> <p>新小岩クリニック 西尾 信一郎</p> <p>〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-20-22 ☎03(3694)5621 FAX03(3694)5628</p>	<p>医療法人社団 自靖会</p> <p>自靖会親水クリニック 院長 北村 唯一</p> <p>〒132-0033 東京都江戸川区東小松川2-7-1 ☎03(5661)3872 FAX03(3674)7036</p>	<p>医療法人社団 菅沼会</p> <p>人工透析・夜間透析・在宅透析 腎内科クリニック世田谷 理事長・院長 菅沼 信也</p> <p>〒157-0062 東京都世田谷区南島山4丁目21番14号 ☎03(5969)4976 FAX03(5969)4970</p>	<p>医療法人社団 菅沼会</p> <p>新小岩クリニック船堀 院長 武田 之彦</p> <p>〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-4-24 ☎03(3688)9901 FAX03(3688)9973</p>	<p>医療法人社団 晴仁会</p> <p>立川北口駅前クリニック 理事長 檜垣 昌夫 院長 石原 理裕</p> <p>〒190-0012 東京都立川市曙町 1丁目31番2号遠藤創造ビル3階 ☎042(523)2299 FAX042(523)2400</p>
<p>医療法人社団 晴仁会</p> <p>幸町腎クリニック 院長 渡辺賀寿雄</p> <p>〒190-0004 東京都立川市柏町4丁目1番1号 ☎042(5336)3099 FAX042(5336)3269</p>	<p>医療法人社団 長尽会</p> <p>長久保病院 理事長 桑原 勝孝</p> <p>〒186-0011 東京都国立市谷保6907番地の1 ☎042(571)2211 FAX042(571)2288</p>	<p>医療法人社団 清湘会</p> <p>清光会 理事長 横山 志郎</p> <p>〒249-0001 神奈川県逗子市久木4丁目25番8号 ☎046(873)7141 FAX046(873)9991</p>	<p>医療法人社団 順洋会</p> <p>武蔵野総合クリニック練馬 院長 下村 洋</p> <p>〒176-0001 東京都練馬区練馬1丁目26番1号 ☎03(3993)7015 FAX03(3993)7015</p>	<p>医療法人社団 順洋会</p> <p>飯田橋春口クリニック 院長 春口 洋昭</p> <p>〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3丁目9-3 SKプラザ2F ☎03(5215)1515 FAX03(5215)1519</p>
<p>医療法人社団 晴仁会</p> <p>東武練馬クリニック 院長 目良 純一郎</p> <p>〒175-0083 東京都板橋区徳丸3-11-2 ☎03(5922)3530 FAX03(5399)6880</p>	<p>医療法人社団 清湘会</p> <p>清湘会記念病院 理事長 佐々木 成</p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目17番24号 ☎03(3636)2301 FAX03(3636)2309</p>	<p>医療法人社団 自靖会</p> <p>練馬桜台クリニック 理事長 永野 正史</p> <p>〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4丁目11番9号 ☎03(5999)0723 FAX03(5999)0823</p>	<p>医療法人社団 順洋会</p> <p>新中野透析クリニック 院長 津田 信次 スタッフ一同</p> <p>〒164-0012 東京都中野区本町 3丁目23番3号新中野AMIビル1階 ☎03(3370)8111 FAX03(3370)8129</p>	<p>医療法人社団 晴仁会</p> <p>立川北口駅前クリニック 理事長 檜垣 昌夫 院長 石原 理裕</p> <p>〒190-0012 東京都立川市曙町 1丁目31番2号遠藤創造ビル3階 ☎042(523)2299 FAX042(523)2400</p>

暑中御見舞申し上げます

NPO 東腎協賛助会員

<p>医療法人社団 心施会 理事長 杉崎 健太郎 〒1042 (366) 89009 FAX042 (334) 26001</p>	<p>府中腎クリニック 院長 篠村 裕之 〒183-0055 東京都府中市府中町1-8-1 第7三ツ木ビル6F・7F ☎042 (366) 89009</p>	<p>南大沢パオレ腎クリニック 院長 岩本 八千代 〒192-0364 東京都八王子市南大沢2-2パオレ5F ☎042 (677) 4477</p>	<p>八王子東町クリニック 院長 小俣 百世 〒192-0082 東京都八王子市東町7-6 ダヴィンチ八王子7F・8F ☎042 (646) 69996</p>	<p>平山城址腎クリニック 院長 杉崎 健太郎 〒191-0043 東京都日野市平山5-38-1 平山城址公園駅前ビル ☎042 (599) 2311</p>
<p>南青山内科クリニック 院長 鈴木 孝子 〒107-0062 東京都港区南青山7-8-8 TEL・FAX03 (6805) 18336</p>	<p>春陽苑にこにこクリニック 理事長 青山 一雄 〒331-0068 埼玉県さいたま市西区飯田新田91-1 TEL・FAX048 (621) 1125</p>	<p>あやせ駅前腎クリニック 院長 榎本 美穂 〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-16-4 とうしんビル5・6階 ☎03 (5697) 8281 FAX03 (5697) 8282</p>	<p>立石腎クリニック 院長 遠藤 聡 〒124-0012 東京都葛飾区立石8-1-2 賛生会ビル2階・3階 ☎03 (5672) 2151 FAX03 (5672) 2155</p>	<p>北千住東口腎クリニック 院長 大森 容子 〒120-0026 東京都足立区千住旭町11-2 学園通りビル1階 ☎03-5284-5101</p>
<p>西新井病院 血液浄化透析室 理事長 金 光宇 〒123-0845 東京都足立区西新井本町1-12-12 ☎03-5647-1700</p>	<p>東京曳舟病院 院長 山本 保博 〒131-0032 東京都墨田区東向島2丁目27-1 ☎03-5655-1120 FAX03-5655-1121</p>	<p>日伸駅前クリニック 院長 森山 君子 〒130-0022 東京都墨田区江東橋3-10-8 オーク錦糸町ビル5F・6F ☎03-3634-9033 FAX03-3634-9466</p>	<p>亀戸畠山クリニック 院長 畠山 卓弥 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-42-5 亀戸クリニックファーム4階 ☎・FAX03 (6885) 3341</p>	<p>わかやま透析クリニック中野南台 院長 若山 慈恵 〒164-0014 東京都中野区南台3-6-17 イマズ中野南台3F ☎03 (6304) 8511</p>
<p>株式会社 東京在宅サービス 代表取締役 中野宏次郎 〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目5番4号YKBマイクガーデン201 ☎03 (3354) 0341 FAX03 (3354) 0373</p>	<p>ジープラン株式会社 代表取締役 長谷川貴一 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-3-3 ☎03-3864-1123 FAX03-3864-1244</p>	<p>株式会社 ワイズ・ヒューマン・パートナーズ 代表取締役社長 村田 寛夫 〒102-0082 東京都千代田区一番町13番地16 一番町法眼坂ビル5階 ☎03-5210-5531 FAX03-5210-5532</p>	<p>ベータ食品株式会社 代表取締役社長 原 年秀 〒531-0076 大阪府北区大淀中1-16-10 高石ビル5階 ☎0800-111-3211 FAX0120-989-8311</p>	<p>特定非営利活動法人(NPO) 通院移送センター タンポポ 理事長 小野崎 勝 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4丁目12番13号ノイメゾン桜台1階 ☎03-6751-7372 FAX03-6751-7374 (携帯) 080-3204-1022</p>

暑中御見舞申し上げます

NPO 東腎協賛助会員

<p>株式会社 教宣文化社 代表取締役 中村 伸一 〒359-0012 埼玉県所沢市坂之下794 ☎04(2944)4323 FAX04(2944)0118</p>	<p>ad square グリーンループ合同会社 〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目12番地13号 ☎03(6277)6580 FAX03(3505)8508</p>	<p>扶桑薬品工業株式会社 東京第一支店 取締役支店長 松井 幸信 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目4番5号 ☎03(5203)7101 FAX03(5203)7088</p>	<p>エルピス株式会社 常務取締役 堀江 好美 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目6-29 ☎06(6100)5010 FAX06(6100)5020</p>	<p>あかつき印刷株式会社 代表取締役社長 大久保 豊 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4の25の2 APビル ☎03(3497)0531 FAX03(3497)0043</p>
<p>東京障害年金相談センター 所長 杉野 賢一 〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター13階5号 ☎03(3888)6614</p>	<p>勇心酒造株式会社 代表取締役 徳山 孝 〒761-2307 香川県綾歌郡綾川町小野2088-1 ☎087-876-4446 FAX087-876-4188</p>	<p>日昌医療器株式会社 〒557-0057 大阪府茨木市豊川5-26-6 ☎072-640-2321</p>	<p>丸大食品株式会社 首都圏特販課 〒135-0051 東京都江東区枝川2-23-2 ☎03-3647-3270</p>	<p>有限会社大杉ニット シャントフレンド 代表取締役 澤藤 亨 〒180-0022 東京都武蔵野市境2-7-5 ☎0422(51)3762 FAX0422(51)3763</p>

災害備蓄米「はんぶん米」の取り扱いについて

東京都の災害備蓄米2020年30,000食の配布に
ついてのご案内です(賞味期
限2021年2月)。患者会
の会員につきましては6月中
旬頃、東京都福祉保健局より
透析施設、各患者会へご案内
が送付されたと思いますが、
所定の様式でご注文下さい。
個人会員の皆さまへ

①7月末を目途に希望数の
確認をさせていただきます。
7月発行の機関誌「ぜんじん
きょうNo.300号」と一緒に
申込用紙(裏面あり)を発送
いたしましたので確認をお願
いいたします。②申込の最小
単位は1箱(50袋入り)とな
ります。「アルファ化米(は
んぶん米)の希望表」に記入
し、FAX、郵送等にて東腎
協事務局までご返信ください。
*配送時期は10月頃を予定し
ています。③東京都から直接
無償配布できるのは東腎協に
入会している会員・患者会が
ある病院、透析施設です。ご

自宅への配送は行っていませ
ん。ご自宅への配送希望につ
きましては、東腎協事務局負
担となるため、配送費の問題
で着払い(自己負担)のみの
対応となりますのでご了承承
ください。関東地方在住の場合、
1箱1200円(税別)程度
配送費がかかります。④病院
施設に配送を希望される場合
は必ず病院の許可が必要とな
りますので、病院の協力をい
ただいて下さい。病院との交
渉は個人会員皆さままで直接交
渉をお願いいたします。⑤こ
の「災害備蓄米」の無償配布
は毎年行われます。東腎協が
要望して東京都が備蓄し、賞
味期限内に東腎協に無償寄贈
されます。非会員の皆さまに
東腎協を知ってもらう活動の
一環としてもご利用下さい。



手軽にできる
透析食

夏バテ防止

～夏野菜と冷しゃぶ～

レシピ等作成
NPO法人東腎協事務局員 須藤幸子(調理師)
監修/NUTRism(ニュートリズム)
松岡里和(管理栄養士)

1人分/1食分の栄養価 エネルギー 741 kcal/タンパク質 18.8 g/カリウム 669 mg/リン 270 mg/塩分 1.8g



暑い夏が続くと、食欲がでないなど夏バテ気味になってしましますが、こんな暑い夏こそ冷たくさっぱりしたバランスの良い食事で暑さを乗り越えたいものです。

今回は低塩、カリウム・リンオーバーに注意しながら、エネルギー不足にならないよう、夏野菜などを十分取り入れた冷たくさわやかレシピをご紹介します。また、ほんの少し工夫することで、食材本来の旨味を楽しんだり、四季を通して、旬の野菜を取り入れるなど季節感も楽しむことができます。栄養のバランスを意識しながら、夏の食卓の一工夫で夏バテに負けない体力作りをしたいものです。

豚肉の冷しゃぶ

〈材料〉(1人分)

豚バラ 60g ●胡麻酢タレ
酒(茹で用)少々 薄口醤油小1
塩(茹で用)少々 酢大1
茄子 1/2個(50g) だし汁大1
キャベツ葉1枚(50g) 砂糖 小1
椎茸2個(20g) ゴマ油小1
木綿豆腐 1/4丁(50g) すり胡麻小1

〈作り方〉

- 鍋に水、酒、塩を入れて沸騰させ、豚肉を広げながら1枚ずつ茹でていく。火が通ったらザルに取り出し、常温で冷ます。冷やした後、キッチンペーパーでしっかりと水気をふき取る。*あれば葱などの香味野菜を入れるとなお良い。
- 茄子は縦に6等分に切る。
- キャベツ葉はザク切りにする。
- 椎茸はいしづきをとる。
- 木綿豆腐を角切りする。
- ②、③、④をそれぞれ茹で、ザルに取り出し、冷ましてから冷蔵庫に入れる。
- 薄口醤油、酢、だし汁、砂糖、ゴマ油、すり胡麻を混ぜ合わせ、胡麻酢タレを作る。
- 中皿にキャベツ葉と茄子をしいた上に肉をのせ、椎茸と木綿豆腐を添える。胡麻酢タレは小どんぶりに入れる。

*冷しゃぶは四季折々の旬の野菜を取り入れることができる。その食材の一番美味しい時期に、季節感を感じながら味わうことができる。
*豚ばらは甘みがあり、食べた後のコクや柔らかい感触があり、しゃぶしゃぶにおすすめ。

さやいんげんと人参の胡麻マヨネーズ和え

〈材料〉(1人分)

さやいんげん3本(10g) すり白ゴマ 2g
人参 10g マヨネーズ小さじ1(4g)
塩(茹で用)少々

〈作り方〉

- さやいんげんはヘタを取り、半分に切る。
- 人参は幅0.7cm、長さ5cmの拍子切りにする。
*野菜は同じ長さ、形に切ることが大切。食べやすくなる。
- ①と②に塩を入れて沸騰した湯で茹でる。茹であがったらザルにあげる。
- すり白ゴとマヨネーズを混ぜ合わせ、③を和える。(マヨネーズでエネルギーアップと減塩を)

豚肉の冷しゃぶの
美味しい
ポイントだよ



※ポイント①

- 豚肉を柔らかくジューシーに仕上げる!
- ◎沸騰中の湯で茹でると、豚肉が一気に収縮して固くなるので、沸騰直前の湯でサッと茹でる。
 - ◎茹でた豚肉を急激に氷水などで冷やすと水っぽさを感じたり、脂肪が凝固してしまい、固い食感になってしまうので、冷やす場合は常温で十分冷ます。

※ポイント②

- 生野菜は水でさらすなどで、カリウム低減を!
生野菜はたっぷりの水でさらしたり、茹でこぼしをすることで、カリウムの低減ができる。
(参) 生野菜の味が水っぽくボケないようにしっかりと水をきる 것이大切。

夏野菜と春雨の酢の物

〈材料〉(1人分)

きゅうり 15g ●三杯酢
みょうが1本(15g) 酢大さじ1
塩(茹で用)少々 塩 0.3g
春雨乾 10g 砂糖 小さじ1

〈作り方〉

- きゅうりとみょうがをそれぞれ千切りしてから水にさらし、ザルに上げてしっかり水気を切る。
- 春雨は熱湯でゆでて水にとり、水気をよく絞って食べやすい長さに切る。
- 酢、塩、砂糖を合わせて三杯酢を作り、①、②を和える。

※ポイント③

- 春雨を利用し、エネルギーアップとカリウム・リン低減を!
◎春雨はカリウムもリンも少なく、エネルギーは多い。酢の物や和え物などに春雨をプラスしてエネルギーアップしながら、カリウムやリンを抑えることができる。

※ポイント④

- 酢を利用し、塩分低減を!酢はサッパリした味わいで、簡単に美味しく減塩できる。

ご飯

〈材料〉(1人分)

ご飯1杯(150g)



「歩こう会」 ちよつと振り返って

歩こう会が今年になって、下見の延期が重なり、いよいよという時期に、コロナウイルス感染症により未だに実践出来ない状態が続いています。この間、問い合わせもありましたが、残念なことについて開催が出来るのかわかりませんね。

歩こう会は、コースを決めるのは、世話人が持ち回りで提案して、下見に行っています。振り返りますと、第一回は、上野公園から始まりました。桜が奇麗でしたね。この時の下見は雪がチラつくという寒さでした。桜は、昨年調布駅から深大寺へ行くコースで小川沿いの花見をしている人の脇を通って行きました。パーベキューのいい匂いがしていました。又、おそばを食べに合流された方もいらっしゃいました。

高尾山へは、下見では下山は口プウエイを使用しないで下まで歩き、ヘトヘトになり当日は絶対止めようと決めました。1回目は雨で延期になり、夏の暑い日に登

りました。頂上でのカキ氷がとても美味しく感じたのを覚えています。熱中症に罹った人がいた事も思い出します。高尾山口駅の茶屋でほとんどの人がカキ氷を注文するほど暑かったのです。

又、今年開催される予定だったオリンピックの為に建て替えをした国立競技場が完成前の工事中でしたし、迎賓館の見学は下見でしていただきましたので、当日は遠慮させて頂きました。別のコースで錦糸町からスカイツリー経由、両国駅までの時での下見では、有名な桜餅を食べましたが、道のりが遠いという理由で見送りになりました。公園を中心としたコースとして皇居東御苑の下見時には雨に降られ、帰るころ晴れました。当日は皆でお弁当を広げて食べたのは、初めてでした。洗足池コースでは、下見をして急遽、東京工業大学キャンパスを通る事になりました。又、六義園コースでは、ツアーガイドが付き3グループに別れて説明を受けました。

歩こう会が再開された時には皆さんと楽しく歩けるように、筋肉を鍛えていきたいと思えます。

世話人 三好かおり

追悼 二元理事

鈴木明彦さんを 偲んで



理事 三好かおり

私と鈴木さんは、2016年の東腎協総会にてオプザーバー（当時はオプザーバー制度が有りませんでした）として紹介された時が初めての出会いでした。

半年後に理事に認められました。物腰の柔らかく、笑顔が素敵な方でした。理事会は毎回出席し、発言や質問もされていました。東腎協の行事も手帳に予定を記入されて真面目に参加されていました。

「都民の集い」で、都庁1階の受付と一緒に担当させて頂いた時、来場者の方に優しい声で丁寧に対応されている姿を思い出します。

北部ブロックの正会員会議、個人会員交流会では、字が書きづらいいと言われ、主に司会を担当されていました。板橋区にお住まいでしたので板橋区難病団体連絡会にも力を注いでいました。

昨年3月の国会請願の帰り道、「この年齢でも、やれることがあってありがたい事です。出来る事は何でもさせて頂こうと思つていきます。」と話されていました。

又、第1回歩こう会にも、「足が少々悪いのだが、最後まで歩けないかもしれないけど、いいかな？」と言われて奥様と一緒に参加されました。ご本人が言われていた通り途中でリタイアをされました。

昨年、ICUに入院されたと聞いていましたが、病状がよくわからなまま数か月がたち、心配をしていました。

そして、3月に訃報が入ってきました。短い期間のお付き合いでしたが、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

鈴木明彦(すずきあきひこ)2020年3月逝去。享年74歳。1946年11月3日生まれ。2007年1月透導入。2017年4月より東腎協理事。

事務局から

「ご寄付御礼」

扶桑薬品工業(株)東京第一支店様

ご寄付ありがとうございました

「マスク支援」

特定非営利活動法人 難民を助ける会(AAR)様よりマスクの支援を受けました

今回全腎協のご縁のあるAARより患者会活動支援として東腎協の会員の皆様にお一人15枚のマスクを頂きました。1ケース、50枚入りが40箱で25小口、計約5000枚と小分け袋、消毒液(ハンドジェル)3本、Web会議用のカメラとマイクを頂きました。

マスクは患者会会員の方には、患者会に会員数にプラスしてお送りします。患者会にて小分けをしていただく事になりますが(患者会の正会員さん及び幹事役員の方には、お手数をおかけします)お願いします。個人会員の皆様には15枚セットして配布させて頂きま

した。

更に在庫に余裕がございますので、新規会員拡大にご利用して頂きたく案内をさせて頂きました。例えば「今でしたら会費半額(東腎協会費2700円)でマスク1箱(50枚)差し上げます」というように患者会で考えて利用してくださればと思います。但し、7月31日までに事務局にご連絡下さいと期限を設けさせて頂きました。

消毒液とカメラ、マイクは事務局で使用させていただきます。

尚、事務局でマスクの取り扱い



時には、エンボス手袋(食品を扱う手袋)とマスクの着用を致します。

「青い鳥ハガキご寄付御礼」

桃井診療所腎友会・すながわ相互

診療所患者会いずみ

高松医院腎友会

柳原腎クリニック健腎会

日野クリニック腎友会

豊田白百合の会

あけほのクリニック内いちょう会

東葛クリニック小岩

清湘会記念病院腎友会

腎内科クリニック世田谷患者友の会

会

永山腎友会

優人クリニック患者会

大田病院腎友会

代々木病院透析室内腎友会

勝和なごみ会

松和患者会

府中けやき会

小笠原クリニック友の会

東京健生病院サボテン会

清湘会 深川橋クリニック腎友会

中野共立病院腎友会 絆の会

西クリニックひまわりの会

患者会会員 荒井達雄

患者会会員 三瓶吉江

【個人会員】

齋藤一彦、榎永照也、岸本 敦

南波成子、青木厚子、小島敏子、

佐藤陽子、鈴木次男、末木秀治、

小平敬明、石山久美子

ご寄付ありがとうございました

「切手類ご寄付御礼」

桃井診療所腎友会

勝和なごみ会

個人会員 鈴木次男

ご寄付ありがとうございました

今後の活動予定

7月26日(日)

第158回理事会

8月22~23日(日)

関東ブロック会議in栃木(中止)

9月13日(日)

東京都透析医会災害対策セミナー

9月20日(日)

第9回東腎協大会(中止)

9月27日(第159回理事会

第49次国会請願

10月4日(日)

第40回臓器移植推進キャンペーン

10月~3月

第50次国会請願署名運動

編集後記

○新型コロナウイルス感染症禍で、私たち腎疾患を持つ基礎疾患患者は、感染した場合重症化する可能性が大きいと、3月以来ほとんど恐怖の日々でした。

この間、すべての主催行事、公的行事などは中止となる中で、東腎協では営業日の縮小・時短、テレワークとWEB会議にチャレンジして、三役会、理事会、総会と6人から最大20人のWEB会議を成功させました。私も齢(よわい)70にして、SNS・テレワークなど経験して、「新しい活動スタイル」が見えてきたような気がします。

東京の感染者は、38名感染10名死亡(7/3現在)。透析患者の年間死亡者は平均100名を超えます。今回の新型コロナウイルス対策では、日本透析医会、東京都、東腎協のネットワークで影響は最小限に抑えられていると思います。しかし、新しいワクチンや処方薬が開発されるまでまだまだ安心できません。

しかし、患者会活動は休止でき

ません。来年は全腎協の50周年記念全国大会も東京で開催されます。会員の皆さんも油断することなく、コロナを乗り越えましょう。

(板橋)

〈Web会議の感想〉

○事前にスマートフォンとパソコンでシミュレーションしてから参加しましたので、スムーズにいったとても良かったと思っています。

今回はコロナウイルス拡大したという事でこんな形になりましたが、おそらく将来的に訳のわからない感染とか出てくる可能性があるるので、これを機会にWeb会議を広めるといっても一つの手段として凄くいいのではないかと痛切に感じました。

(事務局員 須藤幸子)

○モニター越しの総会は新鮮で可能性を感じました。必要な機材を揃えればどこでもモニター越しでリアルタイムな議論が出来るのは魅力的でした。参加のためのコストも時間も削減出来るのではないかと思います。発言も顔色を伺いながらのコメントが減り、積極的な意見も発言しやすいのではないかと感じました。

(事務局員 松山英央)

新刊『新 透析バンザイ』(漫画)のご紹介



10年ほど前に『透析バンザイ』の漫画が出たのを覚えていますか?それに続いて、今年6月約10年ぶりに『新 透析バンザイ』が発行されました。

この漫画は、読むだけで透析のことが全て解るくらい透析の情報が満載です。作者が透析患者自身なので、とてもリアルでわかりやすい読み応えのある漫画になっています。

透析導入時の不安、腎不全からの4つの選択、透析の歴史、糖尿病のこと、大切な患者会、透析って幸せ!など10章からなる盛りだくさんの内容です。

導入後間もない方から、ベテランの方まで間違いなく楽しめる漫画になっています。透析患者の心の葛藤や生きることの意味を問い

直すいい機会になると思います。

この漫画を読み、私の透析導入から今日までの道のりを振り返り、透析人生に無駄なことは一つもないと気づかされました。

この漫画から「透析患者がみんな幸せにより良く生きてほしい」との作者の強いメッセージを受け取ることができました。

東腎協元会長 糸賀久夫

表紙の言葉

新宿区 東京都庁

東京都は2020年6月2日、新型コロナウイルスの感染者34人を新たに確認したと発表した。新規感染者が増加傾向にあることから、都は感染再拡大の兆候があるとして独自の警戒情報「東京アラート」を初めて発動した。

そして6月11日に感染拡大への警戒を呼び掛ける「東京アラート」を解除し、12日午前0時から各施設への休業要請を最終段階となる「ステップ3」に移行し、19日には全面的に休業要請が解除された。